



卒業生 × 在校生 企業 対談

俳優本科 河野さん
俳優/タレント本科 蛭田さん
マネージャー専攻 菊地さん
マネージャー 天谷 璃子氏
俳優 高木 勝也氏
デスク事務 大保寺 珠希氏
ミュージカル本科 三谷さん
マネージャー専攻 岸さん
俳優本科 渡辺さん

多種多様なタレントのマネジメントを行う芸能プロダクション



株式会社 太田プロダクション

(株) 太田プロダクション

1963年の設立後、芸能プロダクションとして漫オブームを牽引。業界のトップランナーとして、多くの人気芸人を輩出。現在は、お笑いだけでなく俳優・アーティスト・文化人・スポーツ選手など多種多様なタレントのマネジメントを行う。また、音楽・映画・演劇・演芸・公演の企画・制作及びキャラクター商品の企画販売と権利の管理なども展開し、養成学校の運営をはじめ、オーディションの開催など新人発掘にも積極的に取り組む。

好きを仕事にするのを目指し

今自分で出来ることを全力で

学生: 皆さんは卒業してから、どのような経緯で今のお仕事をされているのでしょうか？
高木: 僕はこの学校の第一期の卒業生で、卒業してからは現在とは違う事務所に10年ほど所属していて、それからご縁があって現在の所属先である太田プロダクションに移籍しました。
天谷: 私は卒業後、今とは全く違う職種に就きました。でもすぐに、もっと自分にあう職業は何だろうと考えるようになったんです。当時、バレーボールが好きでよく試合を見に行っていたのですが、その時に「自分は何か人を応援す

ることが凄く好きだな」と気がつきました。そこから、マネージャーの「俳優やタレントの一番近くで応援して、一緒に頑張れる」というところが魅力を感じて、やってみたいと思ったのがきっかけです。まだ入社して1年なので、今は特定の誰かを担当するというのではなく、いろんな方の現場について勉強中です。
大保寺: 私も卒業後は、一度地元に戻って一般企業に就職をしました。それで2年間働いて、やっぱり何かしらエンタメに関する仕事したいと思い、太田プロダクションに入社し

ました。現在の担当業務は、所属タレントのスケジュールを全員に共有できるようにまとめることや、ホームページやSNSの更新やメルマガの配信作業を担当しています。SNSの更新は自分的に一番頑張っている業務で、撮影現場に伺って写真を撮ったりもします。
学生: 学校で学べることで、一番大切なのはどんなことだと思いますか？
高木: 僕はあまり真面目なタイプではなかったのですが、卒業できたのは出会った先生たちのおかげでしかないです。そういう意味では、先生だけではなくて同級生との関わりもそうですし、人との出会いやご縁は絶対に大切にしてください。
天谷: 学校では希望すれば参加出来るような

業界で大活躍中の卒業生 (株)太田プロダクション × 在校生 対談

イベントや、経験出来るがたくさんありますよね。マネージャーの仕事をする上で一番大切なコミュニケーション能力が、そういう機会の中で学べるのではないかと思います。
大保寺: 私は在学中にIllustratorとかPhotoshopを勉強しておいてよかったと、今実感しています。どんな仕事についても、画像や動画の編集が自分で出来れば、出来るだけ役に立つと思うので。

コミュニケーション能力と引き出しを増やすことの大切さ
学生: お仕事をしている中で、自主的に取り組んでいることがあれば教えてください。

高木: 時間があれば、なるべく多くのワークショップに参加するようにしています。事務所で開催してくれることもありますし、自分で探したりすることも。それと、アクションに必要な



と思うので、殺陣はずっと続けていますし、最近乗馬も始めました。やりたいことが増える、なかなか時間が足りないですね。
天谷: 取り組みではないのですが、まだ自分が持っている人脈がないので、最近は頑張って飛び込みの営業をするようにしています。
学生: 飛び込み営業に行く際、どんな準備をされているのでしょうか。
天谷: じっくり調べていくというよりも、営業する先のホームページやそこが携わっている作品をチェックしたりはします。そういった情報は、会話をするなかで必ず必要になってくるので。ただ無理をして詳しいふりをする必要はないと思います。
高木: 確かに、引き出しが多くてコミュニケーション能力の高い人の周りには人が集まるので、結果的にそれが仕事につながったりすることがあります。ただ天谷さんが言うように、もし好きなものがあれば突き詰めればい



俳優
卒業生 高木 勝也氏

(株)太田プロダクション所属。1986年11月28日生まれ。DA TOKYO俳優コースを卒業後、映像系の事務所を経て現在の事務所に所属。代表作に大河ドラマ『べらぼう〜篤重栄華乃夢噺〜』(NHK)の男役、『仮面ライダーアマゾンズ』(TX)の駆除班の三崎一也役。直近では日曜劇場『VIVANT』(TBS)のアルビン(テント)役が話題に。



マネージャー
卒業生 天谷 璃子氏

一般企業勤務を経てマネージャー職に興味を持ち、太田プロダクションに入社。現在は入社1年目で、さまざまな現場を経験しながら学びを積んでいる。



デスク事務
卒業生 大保寺 珠希氏

地元で一般企業に2年間勤務後、エンタメ業界を志し太田プロダクションに入社。現在は所属タレントのスケジュール管理、HP・SNS更新、メルマガ配信を担当。

いけれど、無理をして知っているふりをする必要はなく、あくまでも引き出しとして持っていれば良いと思います。ただ俳優はマネージャーと違って、寡黙なのも魅力として人を惹きつけたりすることもあるので一概に言えなくて、難しいところではありますね。
大保寺: 私は、なるべくネットや配信ではなく、テレビを見るようにしています。会社に所属タレントが来た時に、「この前、見ましたよ」という声掛けをすると、話が弾むので。
学生: お仕事を続けているうえで、新鮮さを保ち続けるために工夫していることはありますか？

高木: あまりそこは考えたことはないかもしれませんが、もちろん段取りやリハでやる最初の芝居が一番新鮮だとは思っています。そこから、ちょっとずつ調整して馴染んで行くという感覚かな。
天谷: 毎日違う人と知り合うような仕事なので、新鮮さはいつも感じています。逆に、それが苦手だったりすると、マネージャーの仕事は大変かもしれません。
大保寺: そうですね、私も新鮮じゃないと感じたことはないです。作業的には同じことで

も、毎回内容が違うことですので。
学生: 最後に、人とは違う自分だけの武器ってどうやって見つければいいのか教えてください！
高木: 自分が好きなものを突き詰めるのもいいし、自分の意見よりも周りの意見を聞いてみることも大切ななと思います。自分が本当にやりたいことと求められていることに、ちょっと差は出てくる部分もあるかもしれないけれど、求められる役というのも武器になると思うので。
天谷: 何でもいいので、自分が周りとは違うなというポイントを探してみるといいかもしれません。例えば私は、自分のチームのなかで一番年齢が若いので、若手俳優が一番話しやすいと思うんです。上の人には話せないような悩みも話してくれたりするので、若いということが、今の私の武器になっているような気がします。
大保寺: 私も武器というか、常に心がけていることがあります。それは、誰とでもフラットに接するようにすること、話しかけやすい雰囲気づくりです。そのおかげか、皆さんから「大ちゃん」と呼んでいただいていたたりしているのは、すごく嬉しいことです。

